なんでもインフォ 2016.11

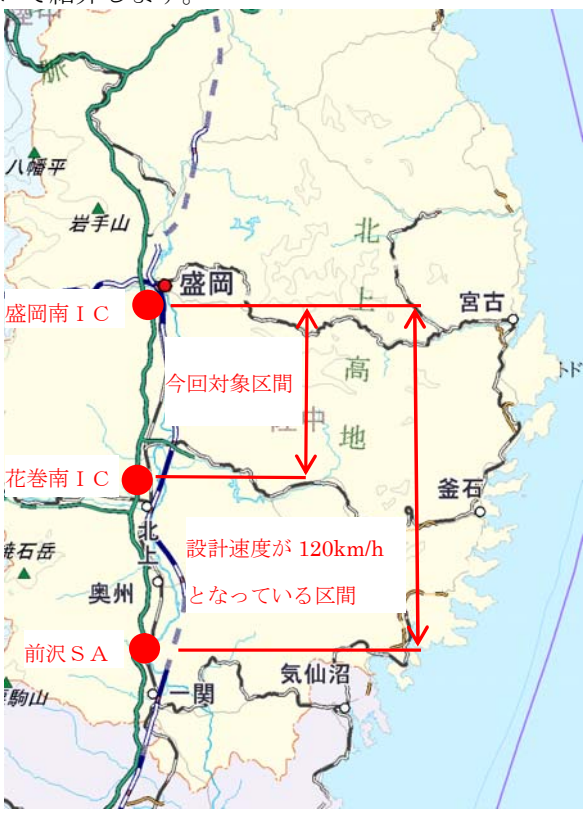
発 行　株式会社 昭和土木設計
岩手県矢巾町流通センター南４丁目１−23　Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389

１００キロを超えて走っていいんですか？～高速道路の制限速度

はじめに

昨年１２月には宮守～遠野間の高速道路が開通し、盛岡～遠野間が高速道路で結ばれるなど、岩手県内の高速道路網も着実に延伸を続けている状況です。そんな中、10 月 14 日の新聞等報道発表を見て、「お！」と思ったのは私だけではないはずです。その報道とは「**高速道速度引き上げ 110 キロ試行を発表　警察庁**」との見出しとともに、一部の高速道路の最高速度を現行の時速 100 キロから 120 キロに引き上げるための試行を行うとの内容でした。その一部の区間に選定されたのが東北道の「花巻南ＩＣ～盛岡南ＩＣ」間でした。

この話を聞いて、「自動車学校で習ったのは高速道路の最高速度は 100 キロで、120 キロなんてありなの」と思われた方もいらっしゃるのではないでしょうか。そこで今月は、高速道路の制限速度について紹介します。



高速道路の最高速度

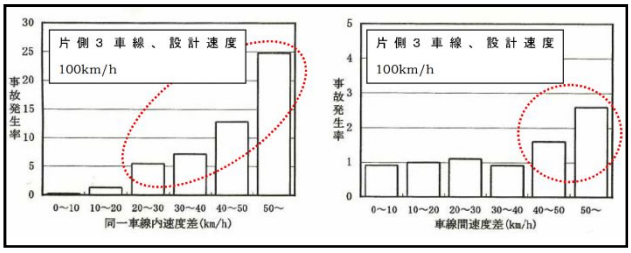
運転免許をお持ちの方なら免許更新の際にもらう「知っておきたい交通ルール」（監修・警察庁交通局）という中には、高速道路の最高速度に関して、普通車＝100km/h, 大型車＝80km/h と書かれています。ということで、固定観念として高速道路の最高速度＝100km/h と思っていてもおかしくはありません。

設計速度と規制速度

設計速度 120 キロとの規定に関して、昭和 45 年に制定されているにも関わらず、世間にはあまり知られていないのは、「設計速度」と「規制速度」という２種類の速度が存在するためでしょう。**「設計速度」は道路管理者**（道路を造ったり管理したりする組織）**が決める速度**で、道路の交通量や重要性・工事費など将来を見据えて決定しています。これに対して**「規制速度」**とは、安全を管理する**警察庁が決定する速度**で、設計速度よりは低く抑えられているのが一般的です。釜石横断道なども設計速度は 80 キロで設計されていますが、規制速度は 70 キロで運用されています。それは、現在の釜石道が暫定２車線運用となっており、上下線を分離する中央分離帯が簡易的な物となっていることが理由で低く抑えられているようです。

速度と事故の関係

一般的に乗用車と呼ばれる普通車の制限速度が引き上げられるのに対して、大型車やトレーラーの制限速度は現行のままとのことです。となると、最高速度が 120 キロに引き上げられたとき、大型車との速度差は 40 キロになります。そこで問題となるのが、事故防止と安全対策強化です。特に運動エネルギーの大きさは速度の２乗に比例することから、速度差が２倍になると衝撃力は４倍になるということです。実際の統計データからも、速度差が 40 キロを超えると事故率が急激に上昇するという報告もなされています。



「規制速度決定の在り方に関する調査研究報告書」より

また、速度が上昇すれば視野も狭くなっていきます。100 キロで走行時には 40° あった視野が、130 キロでは 30° まで狭くなるそうです。このように、速度が上がることによる事故リスクは確実に上昇しますから、運転にはくれぐれも注意が必要です

おわりに

最近の新車発表コマーシャルを見ていると、「自動ブレーキシステム」や「自動運転システム」というアピールが多くなっているように思います。「どこまで機械を信用してよいものか」という不安はありますが、安全運転への一助となるのであれば利用すべきであり、このような技術がますます発展することを願うところです。

株式会社 昭和土木設計の紹介

弊社は，道路・河川・橋梁等の計画・設計，GIS，IT ソリューション等の業務を行っております．
”なんでもインフォ“のバックナンバーについては http://www.showacd.co.jp をご覧ください．

配布者

作成者：水沢支店
牧野　仁